

GPにも必要な矯正治療のための 外科処置について

公立学校共済組合 九州中央病院歯科口腔外科 顧問

【講師】堀之内 康文先生

【ご略歴】

昭和57年 九州大学歯学部卒業、九州大学歯学部第二口腔外科医員
昭和61年 九州大学歯学部第二口腔外科助手
平成11年 九州大学歯学部附属病院高度先端治療部顎変形症治療室長を併任
平成14年 公立学校共済組合 九州中央病院 歯科口腔外科部長

【資格・役職】

歯学博士(九州大学)、元九州大学歯学部口腔外科臨床教授、福岡歯科大学口腔外科非常勤講師、日本口腔外科学会専門医、指導医、日本歯科麻酔学会 認定医、口腔顔面神経機能学会 認定医、日本口腔外科学会代議員、日本顎変形症学会評議員、日本口腔顎顔面外傷学会理事、日本口腔顔面神経機能学会理事、日本病院歯科口腔外科協議会理事、福岡市歯科医師会医事処理委員会委員



口腔機能に対する関心の高まりとコロナ禍でのマスク着用期間中に口元の審美性を改善しておきたいとの希望から、近年矯正治療を希望する患者が増加しています。また、マウスピース矯正の普及によりGPが矯正治療を手がける機会も増えています。

矯正治療単独で治療が終了することも少なくありませんが、便宜抜歯や埋伏智歯、上顎正中埋伏過剰歯、その他の抜歯、舌小帯延長術、萌出遅延歯の開窓牽引、アンカースクリューの植立、強直歯を動かすためのコルチコトミーや単一歯牙歯槽部骨切り術、歯槽骨幅径拡大術など、外科的処置が必要となることがあります。矯正治療をスムーズに進めるために有用な外科的処置についての知識があれば、治療期間の短縮が図れ、理想的な咬合関係、審美性の獲得がより容易になります。

今回、矯正治療に役立つ様々な外来局麻下での外科的処置について、その術式、ポイントを詳述します。

【日時】9月26日(火) 19時30分~21時

【会場】ZOOMによるオンライン

【対象】会員限定 参加費無料 ※未入会の方はぜひこの機会にご入会ください。



QRコードからお申込みください

※お申込みいただいたメールアドレスに当日参加方法について
ご案内をお送りいたします。

- ご提供いただいた個人情報は厳重に取り扱い、本講演会以外には使用いたしません。
- 視聴者のPC環境・通信等の不具合については、当協会では責任を負いかねます。
- 配信内容の録画等は厳にご遠慮願います。